

平成 20 年度 事業計画書

(平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで)

学校法人駒澤大学

平成20年度事業計画書

目 次

．学校法人駒澤大学の主な事業計画

- | | |
|-----------------|-------|
| 1．学部・学科等の新增設 | P．1 |
| 2．教育・研究・学生生徒支援 | P．1～4 |
| 3．施設設備等の整備 | P．4～5 |
| 4．管理・運営 | P．5～6 |
| 5．地域社会との連携および貢献 | P．6～7 |

．財務の概要

- | | |
|-----------------|-----|
| 1．平成20年度資金収支予算書 | P．8 |
| 2．平成20年度消費収支予算書 | P．9 |

・ 学校法人駒澤大学の主な事業計画

1. 学部・学科等の新增設

【駒澤大学】

経営学部市場戦略学科の設置

経営学部経営学科フレックスB(入学定員150人)の改組転換により、経営学部市場戦略学科(入学定員180人)を平成20年4月開設します。(これにより経営学科の入学定員は、360人から330人に減員となります。)

大学院の課程変更(博士後期課程の追加設置)

平成19年度設置した大学院医療健康科学研究科診療放射線学専攻修士課程に博士後期課程(入学定員3人)を新たに追加設置するため、平成22年度に向け課程変更の準備を行います。

司法研究所の設置

新司法試験対応、合格後の連携、また現代的な法律問題に関して最先端の研究が可能な組織作りと法科大学院の活動成果を企業や市民に還元する研究所として新たに設置します。

2. 教育・研究・学生生徒支援

【駒澤大学】

WEB履修登録システム

平成21年度を目前にWEB履修登録システムを構築し、履修登録や成績管理の効率化を図ります。

情報教育の充実

- ・語学教育の情報教育支援としてCALLシステムを導入し、学習効果の向上を図ります。
- ・パソコン教場を増設するとともに情報教育用マルチメディア教場システムを拡充し、増大するパソコン利用科目に対応できる環境を整備します。
- ・情報教育用パソコンシステムを整備し、教育研究の専門化・多様化への対応や研究グループの交流および共同研究を促進させます。
- ・e-ラーニングにLMSシステムを導入し、教員・学生間のコミュニケーションを深め学習効果の向上を図ります。
- ・パソコン利用者に対する技術サポート体制を充実させ複雑な相談や機器トラブルに対応します。
将来的にはサポートセンターに発展させ支援体制を一層強化します。

国際交流の推進・充実

- ・短期語学セミナーを春季・夏季休暇期間に実施し、語学力向上と海外での異文化体験に基づくキャリアプランの形成を図ります。
- ・国際学術交流規程に基づいて国際センター業務を強化・推進し、協定校との交流の推進と充実を図ります。
- ・NAFSA(国際教育交流協議会)の世界大会に職員を派遣し、国際的な教育情報の収集を行います。

就職支援・キャリア支援の強化

学内企業説明会の拡大、インターンシップ採用枠の拡大促進、就職対策講座の充実、およびUターン支援により、学生の希望や適性にあった就職や進路のサポートを強化します。将来的にはUターン支援対策として地方都市における東京事務所との連携を模索します。

私費外国人留学生奨学金の拡充

私費外国人留学生に対し40%の授業料減免を講じていますが、留学生数の増加に伴い奨学金を拡充し、留学生の修学を経済的にサポートすることにより本学の国際化を推進します。

法科大学院奨学金の拡充

従来の奨学金制度の内容を見直し「駒澤大学法科大学院新入生奨学金」・「駒澤大学法科大学院奨学金」に改正することで、奨学金受給生を増やし優秀な学生の確保と在校生の学習意欲を高めます。

FDの推進

授業内容・方法を改善することで個々の教員ならびに教員全体の組織的な教育力の向上を図り、学生の授業満足度を高めます。

研究活動の活性化

近年増えている受託研究、学外共同研究および奨学研究寄付金に関する研究要望に応えるため、新たに規程を整備し、積極的に外部資金を導入することで研究活動の活性化を図り、教育研究の発展と社会的評価の向上に努めます。

特別研究の助成

教員の専門分野の研究および調査に対し研究・出版費用の補助を行い、学術の発展に寄与する特別な学術研究を推進します。

学術研究振興への助成

社会的要請の強い学術研究に対して助成される日本私立学校振興・共済事業団の「学術研究振興資金」への申請を行い、外部資金を獲得するとともに専門分野への研究費を増強し、学術の発展と教育研究を進展させることで学生への研究成果の還元を図ります。

電子図書館の推進

本学で構築している禅籍データベース、研究紀要・論集・論文等の知的財産、貴重図書などの学術資料のデータベース化を推進し、教育・研究支援の充実を図ります。

また、これまでの新聞記事・法令判例・文献などのオンラインデータベース利用状況を検討し、横断検索の機能性を高めるとともに新たなデータベースの購入、冊子からデータベースへの移行を行うなど、利用者の利便性と限られた書庫の有効活用を図ります。

教育懇談会の充実

大学の近況報告と学業・就職・学生生活の様子などを保証人(ご父母等)にご理解いただき、親睦・交流の充実を図ります。

学生募集の強化

受験生、受験生の家族、高校教員および予備校講師等、志願へつながる関係者へ幅広い双方向の情報交換と情報収集を行います。

高校・予備校訪問や高校教員を対象とした入試説明会を開催するとともに、オープンキャンパスの実施回数を増やし、募生活動の強化を図ります。

ホームカミングデーの開催

同窓会との連携によりホームカミングデーを開催し、同窓生・在校生・教職員が互いに交流を深め、本学に対する意識と関心を高める機会を設けます。

健康促進の支援

学校保健法に基づき健康診断、健康調査、応急処置等から学生の健康状態を把握して、学生が大学生活を有意義に過ごせるよう健康の促進を支援します。

【苫小牧駒澤大学】

エクステンション講座の改善

従来の資格取得支援講座に加え、平成20年度より全学を対象に一般教養試験を導入するとともに、基礎講座・応用講座を開設して基礎学力の向上を図るための取組みを始めます。

高大連携教育の推進

附属苫小牧高等学校と単位認定を含むカリキュラム編成の検討、宗教教育、国際交流、英語教育、クラブ活動などを通じて高大連携教育を更に推し進めます。

学生研究発表会

学生の研究活動を市民に発表公開する場を設け、地域における本学の存在意義の認識を深め学修の活性化につなげます。

就職支援の強化

就職支援のためキャリアプラン一連の基礎・応用・実践の科目を開講し、学生の就職意識と能力の向上を図ります。

留学生支援

私費外国人留学生に対し、国内において安心して修学できるよう生活費等の一部を支援します。

図書館機能の設備充実

学生を中心とする利用者に対し、業務の質およびコンテンツの量の両面から知の拠点となる図書館機能の充実を図ります。

学生募集の強化

受験生向けにホームページの一部をリニューアルし、入試広報の更なる充実を図ります。また、留学生に対し広告・現地訪問などを行い、優秀な学生の確保に努めます。

【駒澤大学高等学校】

環境教育の充実

環境教育の一環として省エネ診断士による講演会を開催し、地球環境問題の大切さや省エネ活動の重要性を理解させる教育を実施します。

また、平成 18 年度に長野県信濃町に県の森林里親制度により開設した「駒澤大学高等学校絆の森」での学校林作りを実践する教育展開を行っており、環境教育の充実を図ります。

キャリア教育の充実

社会のニーズに対応する人材を送り出すため、各社会分野で活躍する方々を講師として招き、生徒の職業に対する意識を高めさせ、健全な社会人となるべく人材の育成を目指します。

自転車の安全運転教育の強化

自転車の通行等に関するルール改正（6月19日までに施行される）に伴い、所轄警察署から講師を招き通行ルール等の周知を図り、生徒の安全性とマナー向上に努めます。

また、警視庁の「自転車の安全利用に関する教育モデル事業」へ参加し、自転車教育に関しての警察と学校との連携の在り方について検討を行います。

学校評価の実施

教職員、保護者等を対象に学校評価アンケートを実施し、教育活動の改善を図り教育水準を向上します。

【駒澤大学附属岩見沢高等学校】

学校評価の実施

教職員、保護者、生徒による学校評価結果を分析し、教育活動の向上と生徒募集への取組みを強化します。

生徒募集の強化

これまでの生徒募集活動内容（オープンキャンパス・学校説明会・部活動体験入部等）の充実と強化を図ります。

クラブ活動の強化

奨学金制度を有効に活用し、有能な生徒の育成を充実させるとともに、指導者体制を整備します。

進学指導対策の強化

奨学金制度の有効活用や講習・合宿学習などを実施し、学力向上と進学強化を行います。

【駒澤大学附属苫小牧高等学校】

カリキュラムの見直し

コース制の特色を生かしながらカリキュラムの見直しを行い、授業の効率化やコース制の活性化を図ります。

スイッチバック学習の実施

入学後2か月間を「高校学習のアプローチ期間」として位置づけ、特別テキストを使った主要科目の基礎学力定着を図る学習指導を行います。

進学指導の強化

難関大学進学希望者に対し、外部進学塾を活用した更なる学力向上のための強化対策を行います。

進路指導の強化

進路選択で人気の高い「看護医療学校」への進学について、苫小牧市近隣の教育機関と連携し指導強化します。

高大一貫教育の推進

駒澤大学との高大一貫教育や苫小牧駒澤大学との連携教育を一層推進します。

生徒募集の強化

これまでの生徒募集活動内容（オープンスクール・中学校訪問等）の充実と強化を図ります。

3. 施設設備等の整備

【駒澤大学】

6号館1階学生食堂化改修工事

駒澤大学21世紀プランに基づく整備計画の一環事業として図書・厚生棟を建設するため、現在の大会館にある学生食堂の代替施設として6号館（体育館）1階部分の改修工事を行います。

本館改修建物診断

耐震診断を含めた建物診断を実施し、本館改修工事を行うための準備を行います。

本校キャンパス東側道路付替第3期工事（平成22年度中完成予定）

駒澤大学21世紀プランに基づく校地および地域環境整備として、周辺道路の整備工事第3期となる、旧修道館から駒沢公園までの道路整備工事を行います。

玉川キャンパス部室棟建設（平成22年度中完成予定）

駒澤大学21世紀プランに基づく施設整備として、スポーツ系サークル施設の拠点となる新たな部室棟を建設します。

玉川キャンパス弓道場建設（平成21年度中完成予定）

新部室棟の建設用地確保のため、現在の弓道場の移設工事を行います。

玉川キャンパス西側道路整備工事

玉川キャンパスの施設整備に伴い、道路の整備・緑地整備工事を行います。

アスベスト撤去工事

平成19年度、麻疹による休講措置で工期を確保できなかった本館1階部分のアスベスト除去工事を行い撤去します。

ネットワークシステムのリプレイス

従来のKOMAnet ネットワーク・サーバーシステムのリプレイスを行い、利用者やデータ量の増大に対応するとともに、セキュリティの強化を図り運用性と安全性を備えた情報環境整備を行います。

事務用PCの新規リース

学内PCは機種別の機能向上に合わせ機器の入れ替えを実施していますが、平成20年度は167台の新規リースを行い、事務作業の効率化を図ります。

【駒澤大学高等学校】

人工芝敷設工事・第4期リニューアル工事

開校60周年記念行事の一環として、平成17年度から順次進めている環境整備工事計画のうち、平成20年度は、グラウンド・テニスコートの人工芝敷設工事および第4期リニューアル工事として本館校舎の教室・廊下等の改修工事を行います。

施設設備省エネルギー化対策

環境問題に対する省エネルギー化の取組みとして、世田谷区エネルギー消費量報告書制度を利用し、省エネ診断費用助成制度により実施した省エネ診断に基づき、省エネ機器の導入やランニングコストの削減に取り組めます。

情報教育機器・備品の購入

情報処理室内の老朽化したパソコン等を入れ替えます。

【駒澤大学附属岩見沢高等学校】

学生寮の整備

学生寮の寮生増加に対応するため、施設設備の補充と改修を行います。

情報教育機器の整備

視聴覚教室内の老朽化したパソコン等を入れ替えます。

4. 管理・運営

【駒澤大学】

駒澤大学改革委員会

学長のもとに機動性を重視した改革委員会を設置し、今後更に実効性のある大学改革に資するため、教育研究・事務組織等の諸問題について審議検討します。

施設設備の維持管理

平成19年度に設立した本法人出資の事業会社との契約を通して、大学施設・設備の維持管理・清掃・警備業務を専門業者へ委託し経費を節減します。

事務消耗品の効率的調達

事務消耗品をWEB上で申請・購入することで業務の効率化を図るとともに経費を節減します。

事務組織の改革

平成20年度から新たに「内部監査室」を設置し、業務の適正化、経営の効率化を図ります。

労務管理システムの運用開始

就業管理システムの導入によりWEB上で申請・承認・決裁を行うシステムの運用を開始し、就業に関する手続きを効率化します。

広報活動の強化

新たに広報委員会を設置し、広報活動の審議・検討機関を明確化するとともに、駒澤ブランドの構築を目指します。

【苫小牧駒澤大学】

経常経費の是正

経常経費における人件費や奨学金などの支出を見直します。

【駒澤大学高等学校】

開校60周年記念行事

平成20年10月に開校60周年記念式典と祝賀会を開催します。

第2号基本金の新規組入れ

新設された第2号基本金（駒澤大学高等学校校地拡張事業資産）により、隣地取得資金の一部となる8億円について、平成20年度から平成25年度まで先行組入れを行います。平成20年度は3億円、以後各年度1億円の基本金組入れを行います。

募金事業

開校60周年記念事業募金を平成21年3月まで行い、記念事業による教育施設・環境整備事業の資金に充当します。

【駒澤大学附属岩見沢高等学校】

経常経費の是正

経常経費における人件費や奨学金などの支出を見直します。

【駒澤大学附属苫小牧高等学校】

経常経費の是正

経常経費における人件費や奨学金などの支出を見直します。

5. 地域社会との連携および貢献

【駒澤大学】

生涯学習の推進

大学の知的財産の社会還元を目的として地域貢献の一翼を担ってきた公開講座を、深沢校舎の最新の施設を活用しながら一層推進します。また、玉川キャンパスの健康づくり教室では、募集定員を増やすとともに新たに空手道コースを開講します。

せたがやeカレッジ

世田谷区と大学が協働で運営している「せたがやeカレッジ」を通じ、区民や全国に向けインターネットを利用した新しい学習サービスに取り組みます。

法科大学院による法律相談の実施

第一東京弁護士会との連携により無料法律相談を年2回開催します。

コミュニティ・ケアセンターの活動推進

個人・家族・地域社会等の発達・教育・メンタルヘルスに関する心理的援助を行い、社会への還元と貢献に努めます。

禅文化歴史博物館

歴史的建造物を保存・活用し、禅の文化と歴史をテーマとした博物館として広く一般開放するとともに博物館学の実習施設としても活用しています。

【苫小牧駒澤大学】

地域中学校・高等学校の英語教育の推進

市内および近隣自治体の中学生・高校生を対象として英語弁論大会を実施し、地域全体の教育向上を図り本学への理解を深めます。

産学連携の推進

苫小牧信用金庫との連携により市民大学講座を行い、地域の文化・経済発展に寄与する地域貢献活動を推進します。

【駒澤大学高等学校】

公開講座

学校施設を開放して近隣住民や保護者を対象とした参禅会を実施します。その他、地域の子どもたちを対象として剣道教室・柔道教室を実施し、地域とのコミュニケーションや連携を図ります。

【駒澤大学附属岩見沢高等学校】

地域行事等への積極的参加

駒澤美術展や早朝坐禅会の実施、地元夏祭りやボランティア運動クリーングリーン作戦へ積極的に参加し、市民との交流を図ります。

施設の貸出

旧教養部施設を育児施設や介護事業の事務所として、岩見沢市やその外郭団体に継続して貸出し、施設の有効利用と地域社会との関係を深めます。

地域への奉仕活動

施設貸出しを行っている育児施設への参加協力、また独居高齢者宅の除雪・排雪奉仕活動など、総合的な学習時間を活用した生徒への福祉教育を通じて地域社会との関係を深めます。

【駒澤大学附属苫小牧高等学校】

施設の開放

坐禅堂を一般開放し、近隣住民も参加できる坐禅会などを通じて、地域とのコミュニケーションや連携を図ります。

課外活動成果の発表

吹奏楽部や美術部などの活動成果を、コンサートや展示会を通じて近隣の中学生や住民に発表し、学校への理解を深める取組みを行います。

・財務の概要

学校法人 駒澤大学

平成20年度 資金収支予算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(収入の部)

(単位：千円)

| 科 目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 増 減 |
|------------|------------|------------|-----------|
| 学生生徒等納付金収入 | 16,814,976 | 16,664,844 | 150,132 |
| 手数料収入 | 962,559 | 997,469 | 34,910 |
| 寄付金収入 | 263,122 | 330,837 | 67,715 |
| 補助金収入 | 2,103,917 | 2,079,475 | 24,442 |
| 資産運用収入 | 2,455,729 | 2,030,485 | 425,244 |
| 資産売却収入 | 900,000 | 2,317,000 | 1,417,000 |
| 事業収入 | 99,143 | 91,331 | 7,812 |
| 雑収入 | 275,134 | 731,109 | 455,975 |
| 借入金等収入 | 4,000 | 4,000 | 0 |
| 前受金収入 | 6,684,100 | 6,713,555 | 29,455 |
| その他の収入 | 6,716,278 | 7,748,023 | 1,031,745 |
| 資金収入調整勘定 | 6,994,677 | 7,992,279 | 997,602 |
| 前年度繰越支払資金 | 10,143,945 | 14,573,070 | 4,429,125 |
| 収入の部合計 | 40,428,226 | 46,288,919 | 5,860,693 |

(支出の部)

| 科 目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 増 減 |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 人件費支出 | 12,122,730 | 12,920,268 | 797,538 |
| 教育研究経費支出 | 5,828,122 | 4,966,927 | 861,195 |
| 管理経費支出 | 1,166,985 | 1,130,097 | 36,888 |
| 借入金等利息支出 | 146,524 | 160,627 | 14,103 |
| 借入金等返済支出 | 699,086 | 709,196 | 10,110 |
| 施設関係支出 | 1,024,410 | 1,351,141 | 326,731 |
| 設備関係支出 | 487,482 | 391,405 | 96,077 |
| 資産運用支出 | 9,825,932 | 14,195,551 | 4,369,619 |
| その他の支出 | 380,085 | 409,838 | 29,753 |
| 予備費 | 248,000 | 249,000 | 1,000 |
| 資金支出調整勘定 | 336,281 | 339,076 | 2,795 |
| 次年度繰越支払資金 | 8,835,151 | 10,143,945 | 1,308,794 |
| 支出の部合計 | 40,428,226 | 46,288,919 | 5,860,693 |

百円単位を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

学校法人 駒澤大学

平成20年度 消費収支予算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(消費収入の部)

(単位：千円)

| 科 目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 増 減 |
|----------|------------|------------|---------|
| 学生生徒等納付金 | 16,814,976 | 16,664,844 | 150,132 |
| 手数料 | 962,559 | 997,469 | 34,910 |
| 寄付金 | 270,343 | 346,076 | 75,733 |
| 補助金 | 2,103,917 | 2,079,475 | 24,442 |
| 資産運用収入 | 2,455,729 | 2,030,485 | 425,244 |
| 資産売却差額 | 0 | 53,241 | 53,241 |
| 事業収入 | 99,143 | 91,331 | 7,812 |
| 雑収入 | 312,395 | 731,109 | 418,714 |
| 帰属収入合計 | 23,019,062 | 22,994,030 | 25,032 |
| 基本金組入額合計 | 3,557,365 | 3,820,436 | 263,071 |
| 消費収入の部合計 | 19,461,697 | 19,173,594 | 288,103 |

(消費支出の部)

| 科 目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 増 減 |
|--------------|------------|------------|---------|
| 人件費 | 11,709,261 | 12,658,318 | 949,057 |
| 教育研究経費 | 7,441,704 | 6,634,054 | 807,650 |
| 管理経費 | 1,389,818 | 1,361,806 | 28,012 |
| 借入金等利息 | 146,524 | 160,627 | 14,103 |
| 資産処分差額 | 213,638 | 20,331 | 193,307 |
| 徴収不能引当金繰入額 | 1,156 | 1,000 | 156 |
| 予備費 | 248,000 | 249,000 | 1,000 |
| 消費支出の部合計 | 21,150,101 | 21,085,136 | 64,965 |
| 当年度消費支出超過額 | 1,688,404 | 1,911,542 | |
| 前年度繰越消費支出超過額 | 9,984,655 | 8,073,113 | |
| 翌年度繰越消費支出超過額 | 11,673,059 | 9,984,655 | |

百円単位を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

平成20年度 消費収支予算書の構成比率

